外国人にわかりやすい地図表現

国土基盤情報調整官　中村　孝之

キーワード：多言語対応，観光立国，地名の英語表記，外国人に理解しやすい地図記号

1. はじめに

観光立国の実現や 2020 年のオリンピック・パラリンピック東京大会の開催に向けて，訪日外国人旅行者の円滑な移動や快適な滞在のための環境整備が必要である．国や一部の地方公共団体においては，標識や案内等について多言語対応の検討や実施が進められている．

地図についても，外国人旅行者の円滑な移動を確保するために不可欠なものであり，これまで取り組みを行ってきている関係機関とも連携しつつ，多言語対応を推進する必要がある．

このような状況を踏まえ，国土地理院は平成 26 年度（2014 年度）に地図や地名などの分野の有識者や関係機関からなる「外国人にわかりやすい地図表現検討会」を設置し，外国人にわかりやすい地図を作成するための標準として，地名の英語表記方法や外国人が直感的に理解しやすい地図記号について検討を行った．

2. 検討会の概要

平成 26 年度（2014 年度）に計 4 回開催した．

【検討会メンバ】
森田喬（座長・法政大学教授）
板倉広泰（東京都観光まちづくり担当課長）
（第 1 回のみ，前任の小平房代課長が出席）
今尾恵介（著述業）
藤原威一郎（観光庁参事官）
ロバート・キャンベル（東京大学大学院教授）
渡辺浩平（帝京大学准教授）

3. 成果の概要

3.1 地名の多言語による表記方法

平成 26 年度（2014 年度）は英語による表記方法を検討した．外国人が覚えやすい，日本人が英語の発音を聞いて元の地名がわかることを両立する観点から，用語の日本語としての構造（地形や種別を表す部分を除いたものの独立性や音の数など）も吟味しつつ検討し，以下の 1)～4)のカテゴリで地名の英語表記ルールを作成した．

1）単体の自然地名（山，川，湖，島，岬など）
例：筑波山は Mt. Tsukuba，月山は Mt. Gassan，利根川は Tone River，荒川は Arakawa River，浜名湖は Lake Hamana，西湖は Lake Saiko

2）広域の自然地名（山脈，山地，平野，半島など）
例：奥羽山脈は Ou Mountain Range，知床半島は Shiretoko Peninsula，関東平野は Kanto Plain

3）居住地名（都道府県，市区町村，大字，町丁目）
例：東京都は Tokyo Metropolis，北海道は Hokkaido Prefecture，つくば市は Tsukuba City，緑区（横浜市）は Midori Ward

4）人工構造物
例：浅草寺は Sensoji Temple，勝鬨橋は Kachidoki Bridge，東京駅は Tokyo Station

3.2 外国人にも理解しやすい地図記号

地図記号は，訪日外国人がよく訪れる施設や緊急時に必要となる施設（※1）を対象に，現地の看板で使用されているピクトグラムとの整合性にも配慮しつつ，地図に表示したときに見やすいように簡略化したものを検討し，地図記号イメージ（※2）を取りまとめた．検討にあたり，在日大使館職員，JICA 研修生，留学生，日本語学校生，英会話学校講師，観光客など外国人を対象にアンケート調査を実施した（回答は 92 の国及び地域の約 1,000 人）．

※1 地図記号の検討対象とした施設（18 種類）：
ホテル，レストラン，ショッピングセンター/百貨店，寺院，神社，温泉，博物館・美術館，教会，モスク，トイレ，鉄道駅，空港，観光案内所，郵便局，銀行（ATM），コンビニ/スーパーマーケット，病院，交番

※2 地図記号イメージの例
ショッピングセンター/百貨店：
コンビニ/スーパーマーケット：

4. 成果の普及について

今後は，地方公共団体や民間団体に成果を広く周知して活用を促進し，外国人にわかりやすい地図を普及させていく．

国土地理院では，本検討会の成果を元に作成した「500 万分 1 日本とその周辺英語版」を平成 27 年（2015 年）3 月末に刊行した．また，100 万分 1 図に記載される主要な自然地名約 1,500 を集録した英語表記リストを取りまとめたところである．英語以外の言語についてもニーズを踏まえた上で今後検討する．地図記号については，検討会でとりまとめた地図記号イメージを元に平成 27 年（2015 年）度に地図記号を作成し，誰でも利用できるデジタルファイルを公開する予定である．